

基幹業務パッケージ

エクスプランナー・アイ

EXPLANNER/Ai 導入事例

旭化成ホームズ株式会社 様

全国11拠点、83ユーザが使用する会計システムを刷新
経理業務の大幅な時間短縮と正確さを実現

旭化成グループの住宅・建材事業を担い、住宅業界のリーディングカンパニーである旭化成ホームズ株式会社様(以下、旭化成ホームズ様)。同社は、長年使用してきた会計システムの刷新に迫られ、基幹業務パッケージ「EXPLANNER/Ai」および戦略的会計ソリューション「GroupVision」を導入。拡張性の高いインターフェースを有する柔軟な会計基盤を構築しました。これにより、経理業務の大幅な効率化を実現。その他にも様々な効果を上げています。

ご提供製品

- ・基幹業務パッケージ「EXPLANNER/Ai」
- ・戦略的会計ソリューション「Group Vision」

●導入背景・課題

- ・自社構築した会計システムの老朽化に伴い、法改正対応やOSのバージョンアップ、販売管理などの業務システムとの連携バグなどの対応に時間を要していた。
- ・システム上で発生するエラーや異常値が出た場合、その原因特定に時間を費やしていた。

●導入成果

- ・パッケージ中心のシステム構築により、柔軟性と信頼性を実現。業界および旭化成グループ特有の仕訳にもきめ細かく対応。
- ・連携データの齟齬がなくなり、処理時間が格段に短縮された。

●NECの提案

- ・住宅業界特有の業務処理など、様々な要件を満たすため、汎用性の高い基幹業務パッケージ「EXPLANNER/Ai」と、戦略的会計ソリューション「GroupVision」による柔軟なアドオン開発を提案。
- ・会計業務に精通したSEが、提案から構築、運用まで対応。導入後も、システム品質の維持・向上のため継続的にサポート。

AsahiKASEI

旭化成の住まい

社名：旭化成ホームズ株式会社
所在地：〒160-8345 東京都新宿区
西新宿1-24-1 エステック情報ビル
会社創立：昭和47年(1972年)11月
資本金：32.5億円/4,862億円(平成25年3月期連結)
事業内容：旭化成グループの住宅部門として設立。戸建て住宅「ヘーベルハウス」など、新築請負事業を中心に、近年は資産活用やリフォーム、介護住宅なども手掛け、住まいと人にまつわるサービスを総合的に提供している。
URL：http://www.asahi-kasei.co.jp/j-j-koho/

ロングライフ住宅。

ヘーベルハウス

導入前の課題

老朽化によるブラックボックス化。
会計システム刷新が急務に

「ヘーベルハウス」のブランド名でおなじみの旭化成ホームズ様は、1972年の設立以来、旭化成グループの一員として住宅・建材事業を担い続けてきました。昨今では、戸建住宅事業だけでなく、賃貸住宅事業から不動産分譲事業まで、住まいに密着したサービスを幅広く提供しています。

同社ではホストコンピュータ上で自社構築した会計システムを1990年代にダウンサイジングして利用していました。しかしシステムの老朽化が進み、販売管理などの業務システムとの連携のしづらさ、法改正や進化するOSへの対応の難し

さなど、さまざまな課題が浮き彫りになっていました。旭化成ホームズ株式会社 情報システム部部長の近藤達氏は次のように振り返ります。「必要なデータを取り出すにも処理が遅く、さらにシステム上でエラーが発生したり異常値が出たりする場合があります、その原因特定に時間をとられるという悪循環が生じていました。システムの修繕を行えるベンダーの人材も減り、会計システムのブラックボックス化が進んでいました」

導入の経緯

4社のパッケージを比較検討。
信頼性の高さからNECをパートナーに

旭化成ホームズ様の要件は、全国11拠点、83ユーザが使用する会計システムの精度向上、法

改正への円滑な対応などをパッケージソリューションで実現することでした。近藤氏はパッケージにこだわった理由をこう述べます。

「これまで自社構築した専用のシステムを使ってきましたが、技術の進化や法改正などの変化に対し、維持・対応の難しさを感じていました。システムメンテナンスにも手間がかかり、人的コストや維持費の面も課題でした。そして何よりも、会計システムそのものに精通した専門家がパートナーとして必要だと考えました。すべてを社内ですべて対応し続けることに限界を感じていたので」
4社の会計パッケージソリューションを検討した同社は、最終的にNECの会計システム「EXPLANNER/

Ai」と、会計と業務システムのデータ統合・連携を行い、自動仕訳をおこなう「GroupVision」の同時導入を決断しました。

「当社は、最終的な決算を旭化成全体で行うため、フルパッケージの会計システムは不要でした。必要な機能を選べて、業界独自の要件にも対応できる柔軟性が選定理由の一つです。そして何よりNECが自社で開発したパッケージをNECが導入することに安心感がありました。」(近藤氏)

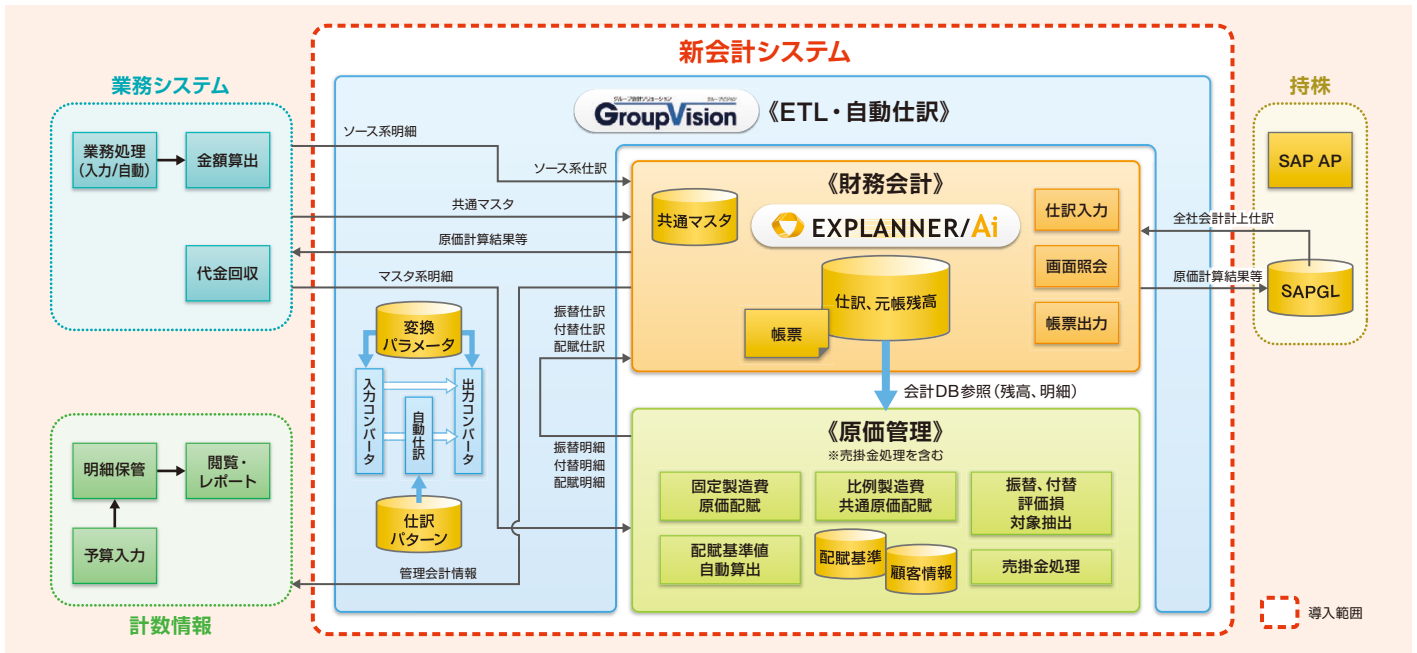
柔軟な運用を実現する「EXPLANNER/Ai」と「GroupVision」を提案

NECが提案した「EXPLANNER/Ai」と「Group

Vision」は、豊富な導入実績を持ち、業界および旭化成グループ特有の仕訳にもきめ細かく対応できる充実した機能を備えており、要件の一つである「必要な機能を選べる」パッケージです。パッケージ標準機能を活用し、多様な業務システムとの連携部分でのバグ発生を抑制しつつ、検索性を向上させ、入力ミス撲滅と保守コスト削減を目指しました。さらに将来的には、IFRS対応も可能とする、柔軟性・信頼性を併せ持っています。

「会計システムの基本的な機能はどれも変わりません。その点、NECに提案いただいたパッケージは柔軟さがありました。」(近藤氏)

● システム概要



導入後の成果

大幅な会計伝票入力業務の削減とペーパーレスを実現。日計表出力も容易に

2011年4月、プロジェクトがスタートしました。ブラックボックス化していた旧システム内の処理を5カ月かけてひも解いたのち構築を開始。テスト運用にも5カ月をかけ、2012年10月に本稼働を迎えました。

「ひも解き作業は、当社の会計処理担当、システム部、旧システムのベンダー、NECの4者が一丸となって行いました。思っていた以上に例外処理

が多く、大変苦労した部分です。しかし、NECが責任をもって真摯に取り組んでくれたおかげで、本稼働から2年経過した今まで、一回も大きな不具合はありません。希望通りの信頼性の高いシステムに仕上がりました」(近藤氏)

さらに近藤氏は次のように導入効果を述べます。「使い慣れた入力画面からパッケージ標準の入力画面への変更があったのですが、ユーザーインターフェースが分かりやすく、移行はスムーズに行えました。導入後もシステム面に関する問い合わせはごくわずかです。これまでは不正箇所を特定する際も上流システムでの調査が必要だったのですが、そのようなズレも各拠点で調査で

きるようになってきました。処理速度が格段に上がり、安定性を実感しています。さらに本稼働後、子会社にEXPLANNER/Aiを新規に導入しました。その際、今回導入した柔軟な会計システムにより、業務システムとの連携もスムーズに行うことができました。会計は経営に欠かせない業務ですから、何より安心感が大きいですね」
今後は、ほかの業務システムとのさらなる連携はもちろん、経営に生かせる情報分析、ワークスタイルの変化についてもシステムで対応していく考えです。最後に近藤氏は「NECには、今後もパートナーとして、さまざまな面からのアドバイスを期待しています」と締めくくりました。

お問い合わせは、下記へ
NEC EXPLANNER部
TEL: 03(3798)6844 FAX: 03(3798)7169
URL: http://jpn.nec.com/soft/explanner/

●本カタログに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
●このカタログの内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。
●本製品の輸出(非居住者への業務提供等を含む)に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法令等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。